

令和4年度 事業報告

1. 公益目的事業の推進

本財団の事業は、広島原爆被爆の記憶を原点として、世界平和都市広島としての責任と義務を果たすべく、国際平和の実現とより密接な国際交流を図り、平和の啓発活動を推進するため、下記の事業を実施した。

(1) 第34回 谷本清平和賞

この賞は、本財団の発起人であり日本キリスト教団広島流川教会の牧師であった谷本清氏が、被爆後世界平和のために活躍された功績を継承し、さらに世界が平和であることを願って、毎年平和のために貢献した人(含む団体)を表彰する。

第34回目の「谷本清平和賞」は、特定非営利活動法人「ANT-Hiroshima」理事長の渡部朋子氏に授与した。被爆二世でもある渡部氏は、被爆地広島を拠点に国際理解や平和教育を実践し、被爆体験の継承と国内外への発信、核廃絶運動など、恒久平和の実現を目指し、多彩な活動の先頭に立って積極的に取り組まれている。

(2) 第31回 世界平和弁論大会

例年、谷本清平和賞贈呈式と併せて開催している外国人留学生による日本語の「世界平和弁論大会」は、広島で学ぶ若者たちが平和への思いを発信できる機会として、本大会を開催してきた。一昨年からの新型コロナウイルス感染症蔓延のため、2年連続して中止したが、ワクチン接種の進展による感染拡大の抑制等により、政府の水際対策も緩和され、第31回日本語による「世界平和弁論大会」を開催することができた。本大会には7カ国から12名が発表した。なお、交流会は同感染症の感染対策として中止した。

- 第1位 アグネ・ピレサール (エストニア出身・広島中等教育学校)
- 第2位 ミリヤム・アレックス (ドイツ出身・山陽女学園高等部)
- 第3位 ホアン・ティ・ハイン・グエン (ベトナム出身・広島女学院大学)
- 第4位 シェーリング・ニドップ (ブータン出身・広島修道大学ひろしま協創高校)
ブータンルイーザ・ザグラウアー (アメリカ出身・舟入高校)
マティス・メルシェ (ベルギー出身・広島大学附属高校)
ジュリー・ルドルフ (ドイツ出身・広島女学院高校)
ブルーノ・スルーカ (アメリカ出身・広島中等教育学校)
ピチャモン・スワットウィリヤボン (タイ出身・広島女学院高校)
マルコ・クーラー (ドイツ出身・舟入高校)
コンサット・パット・ジバンジョン (タイ出身・広島大学附属高校)
チャン・ティ・トウイ・リン (ベトナム出身・広島女学院大学)

(3) その他の事業

該当なし